

# 全日本中国人博士協會

Chinese Academy of Science and Engineering in Japan

## 全日本中国人博士協會 20 周年記念

URL : [Http://www.casej.jp/](http://www.casej.jp/)  
事務局 E-mail : office@casej.jp



### 宗旨

務実・創造・架橋・貢献

### 理念

科学技術振興への貢献  
日中両国間の科学技術交流の促進  
会員間の交流促進および会員の地位向上

### 主な活動

1. 協会定期年会
2. 各種インターネット学術会議
3. 協会学術雑誌の編集出版
4. 中国国内との学術交流
5. メンバー創業支援
6. 技術コンサルティング
7. メンバー間の懇親・交流

# 会長挨拶

全日本中国人博士協会（以下、博士協会と略記）は、1996年7月に発足し、日本の教育機関・研究機関・民間企業などにおいて、学術研究・技術開発・企業経営などに従事している中国人博士ならびに日本から帰国された博士により構成されている団体です。

博士協会は設立してから20年間の歳月を経て、中国駐日大使館、国家科技部、中国科協、海智弁、国务院及び各地僑弁、政協、国家及び各地外専局、外事弁、各地科協のご指導を賜り、日中両国の方々のご協力を頂きながら成長してきました。心から感謝を申し上げます。

博士協会設立の宗旨と理念に示したように、主な目的は、研究協力と学術交流を促進すること、情報共有と会員親睦を強化すること、中日両国における諸分野での架け橋の役割を果たすこと、会員の潜在的なパワーを最大限に発揮して会員の学術水準、学術地位および社会地位を向上させることにより、我々の知恵と才能を広く社会に貢献することにあります。

博士協会は発足以来、電子ネットワーク、年会、国際シンポジウム、セミナー等を通じて、会員間、会員と国内外の学者間の学術交流・研究協力、日中科学技術振興への協力などに関する活動を行ってきました。さらに、会員の皆様が“回国服務”、“為国服務”、“創新創業”の“平台”建設に力を入れてきました。“百名博士地方行”も博士協会のブランドとして発展し、会員の皆様からも積極的に参加し、国内各地から評価されました。

現在、IT技術とインターネットによって世の中は大きく変革しようとしています。博士協会もこれに対応してダイナミックに変革していきます。博士協会は(1)数学と自然科学、(2)人文と社会科学、(3)農学と工学、(4)医学と生命科学という幅広い領域で活躍されている人材で構成されておりますので、このような大変革時代に大きな貢献をすることができると考えます。従来の研究スタイルから脱却し、異文化・異分野を超えた研究スタイルがますます必要となります。さらに、日中両国内にとどまることなく、自分自身の従来のパラダイムを超え、地球規模にわたって国際的に活躍できる技術者を生み出したいというのが、博士協会の願いとするところであります。

博士協会は今後、「務実、創造、掛橋、貢献」という宗旨で、多姿多彩な交流活動や共同研究開発計画を推進していく所存です。会員の皆様の絶大なるご参与・ご協力をお願い致します。さらに、我が協会は多くの方々のご入会を期待しております。



滕 勁兵  
横河電機株式会社

# 第 11 期理事会

## 理事会理事

董国卿 杜 刚 郭 阳 黄红斌 金 俊 康喜军 孔昌一 李 明 林敏洁  
李 卿 李睿栋 庞 楠 申雪寒 司宏俊 孙莲花 陶惠荣 滕劲兵 张晓刚

## 监事

刘占富 胡伟民 刘学振

终身名誉顾问 嶋山 由紀夫

名誉顾问 塚本 喜左衛門

名誉会长 任福繼 李磊 刘学振

会长 滕劲兵

常务副会长 李 明

副会长 李 卿，庞 楠，孔昌一，申雪寒，司宏俊，林敏洁

事務局長 李 明（兼）、事務局長代理 李睿棟，孔昌一（兼），李 卿（兼）

副事務局長 郭 陽（兼）

會計 申雪寒、康喜軍

## 歴任会长

第1期（1996年7月～1998年6月）

程京德（埼玉大学教授）

第2期（1998年7月～1999年6月）

徐 刚（立命馆大学教授）

第3～4期（1999年7月～2001年6月）

呉智深（茨城大学教授）

第5～6期（2001年7月～2004年6月）

任福繼（徳岛大学教授）

第7～9期（2004年7月～2011年7月）

李 磊（法政大学教授）

第10期（2011年8月～2012年10月）

劉学振（三菱プレシジョン株式会社）

第11期（2012年11月～现在）

滕劲兵（横河电机株式会社）

## 近年協会の主な活動

- 协会积极组织参加了首届“中国深圳海外创新人才大赛”，该大赛在全球设有 5 大赛区，日本东京分站赛，美国硅谷分站赛，澳大利亚悉尼分站赛，德国慕尼黑分站赛，以色列特拉维夫分站赛。我们协会会员董建博士团队（医学图像处理，医学图像 3D 化，CT 成像算法研究），金凤鹤博士团队（重金属污染土壤不溶化处理技术 材料与能源（含节能环保）），邵肖伟博士团队（基于距离传感器的群体及个人空间信息提取——智能城市、智能家居 电子科技）在 2016 年 3 月举办的日本东京分站赛中获得三等奖成功被选进前十名进军 2016 年 5 月在深圳举办的总决赛，并且，邵肖伟博士团队喜获最终决赛二等奖，董建博士团队喜获最终决赛三等奖。
- 2015 年 12 月协会组团参加了第 17 届广州留交会，与参会的各省市机关单位，世界各地的留学人员团体进行了广泛有效的交流，并获得大会组委会颁发的最佳组织奖。
- 2015 年 9 月协会组团访问江苏省产业技术研究院，参团的各位博士根据自己的专业专长分组与机器人所，激光所，转化医学所，工业生物所，膜所，汽车所进行了广泛的交流。
- 2015 年 08 月博士协会代表团参加天津市引智引才海外协作机构联席会议，与天津市外国专家局，天津市留学服务中心，天津著名高校，天津市国资委，各用人单位，以及来自欧美等世界各国和地区的留学人员团体进行了交流。
- 会员大力支持 2008 年的四川大地震募捐，2011 年东日本大地震、2016 年盐城灾害募捐活动等。
- 我们博士协会还组织了百名博士江苏行，百名博士无锡行，百名博士盐城行，百名博士深圳行，等重大为国服务活动，活动得到了全体会员的大力支持和参与，受到国内各级领导和用人单位的好评。这也成为了我们全日本中国人博士协会的一大为国服务品牌。



深圳海外创新人才大赛东京分站赛颁奖后合影



第 17 届广州留交会滕劲兵会长领奖



江苏省产业研究院访问交流会会场掠影

（协会的活动内容请参见“协会活动实绩报告”）

## 会員の活躍

- 我们协会的会员遍布在日本各地，从海道、東北、関東、中部、北陸、関西、中国、四国、九州、沖縄都有我们的会员在各个领域活跃着。
- 更有一部分会员经过我们协会的推荐回到我们的祖国，活跃在北京，天津，上海，深圳等各大职业院校，科研单位，还有许多会员回国创业，并取得了优异的业绩。在无锡成立了中日教育合作基地，还成立了杭州交流中心，上海联络处，长春分会，苏州张家港市联络处等。
- 有的会员更是从日本走向世界，活跃在美国，加拿大，澳大利亚，欧洲各国。并且在美国加州成立了全日本中国人博士协会北美分会。
- 经过我们协会的推荐已有多位会员入选国家千人计划，长江学者，中科院百人计划，地方领军人才计划。我们协会现任副会长庞楠博士是千人计划评委。
- 我们的会员活跃在在工学、理学、農学、医学、歯学、商学、経済学、水産学、教育学、学術研究、国際学，音乐学等领域，通过我们协会这样一个平台实现了多领域的交叉，融合和发展。促进了会员之间的科技交流和发展。
- 为报答祖国对我们的培养，我们协会成立了百条建言专家委员会，向祖国提供建设性的意见和建议。在中国要加入 WTO 时期积极举办了 WTO 论坛，也积极响应祖国的号召，举办了东北振兴，西部开发研讨会等。
- 协会与中国科协，大使馆教育处等合作编辑出版了“科学技术前沿”。  
(续篇待编)
- 协会拥有自己的会志，ISSN-1348-4141，已收藏于日本国会图书馆。  
(现在停刊中)
- 2016 年 2 月，协会成立了“博乐俱乐部”，张伟博士任部长。
- 2016 年 4 月，协会成立了“医药与健康分会”，李卿博士任分会会长。
- 2016 年 5 月，协会成立了“都市建筑学者交流分会”，李明博士任分会会长。



# 協会活動の実績

## ● 2006年9月～2008年7月活動報告

2006年9月 博士協会四国研究会開催

2006年10月 協会設立10周年慶祝大会



協会成立10周年学术交流大会



協会成立10周年懇親会

協会代表は大使館教育処”在日学人座談会”出席

中国科学技術協会第一副主席齋讓来訪

2006年11月 博士協会メルマガ創刊号発行

江蘇省科学技術協会張鉄恒副主席来訪

北京市華僑弁喬衛主任来訪

2006年12月 在日華人団体代表座談会に出席

大連市帰国留学人員聯誼会成立、協会から祝電

2007年1月 会員へ元旦祝辞送付

博士協会代表団 長江大学を訪問

2007年2月 協会春節聯歡会開催

協会代表中国大使館華僑華人新春招待会に出席

江蘇省海外優秀人材バンク登録へ協力

協会会員、財団法人康楽会賞受賞

教育部と科技部主催の「首屆春輝杯」に参加し、主催者から「優秀組織賞」を受賞

博士協会北米分会設立（米国カリフォルニアにて）、ウェブサイトを開通

2007年3月 協会設立10周年記念論文集を編集・発行

協会会員代表は中国科学院を訪問

2007年4月 温家宝総理訪日、協会代表は歓迎活動に参加

博士協会理事会大阪・京都親睦ツアー実施

協会会員、第3回日中ネットシンポジウム主催

協会会員、科学研究費補助金獲得

2007年5月 中国科学技術協会「海智計画」訪日代表団来訪

博士協会と大使館教育処との交流会開催

2007年6月 協会代表は大使館教育処新旧公使参事官送迎会出席

協会会員代表団は合肥工業大学を訪問

2007年8月 中関村管委會訪日代表団との会談

博士協会「百名博士江蘇行」壮行会大使館で開催

博士協会「長春フォーラム」開催

協会長春分会設立

2007年8月 協会代表団上海市政府僑弁を訪問

百名留日博士江蘇行開催、協会年会同時開催、参加した会員は南京、連雲港、南通、鎮江、無錫、蘇州、張家港、昆山を訪問

欧米同学会第3回海外留学人員社団責任者座談会出席

博士協会代表団、奇瑞汽車会社本社訪問交流

協会代表団は中国科協を訪問

2007年9月 協会招聘で中国科協訪日代表団来訪

協会招聘で奇瑞汽車グループ訪日代表団来訪

「博士協会8月帰国活動報告会」開催

王毅駐日大使の離任送別会に協会代表出席



**協会前会長李磊教授与王毅原駐日大使合影**

全国政協賈慶林主席来日、協会代表歓迎会に参加  
協会代表団は”相聚上海、共謀發展”イベント参加  
協会代表は教育処国慶節招待会に出席  
全球華人高端科技人材及科技社團調查研究実施  
2007年10月 江蘇行・協会年会記念論文集発行  
江蘇省人材資源開発訪日団が来訪  
江蘇行組委會・博士協合理事会合同懇親会開催  
北華大学張連斌書記来訪  
協会代表、山東海外華僑華人社団大会出席  
協会と山東省海外交流協会友好関係協議書署名  
協会会員 南通宮霆生物科技發展有限会社設立  
2007年11月 協会ホームページ、ドメイン変更、  
移行作業  
協会会員第2回上海留学人員成果展に出展  
協会理事会代表団、欧米同学会、中国科協、教育部、  
国務院僑弁を訪問



国務院僑弁を訪問記念写真

2007年12月 無錫市濱湖区訪日代表団来訪

JST 中国総合研究センターとの交流を開始  
協会会員忘年会を開催

2008年1月 会員に新年賀辞を送付

協会530プロジェクト関係会員は無錫を訪問

「日中科学技術学术交流の将来展望」をテーマに  
JSTで講演

日中共同研究の推進に、文部科学省へ協力

大使館教育処春節招待会開催、協会代表参加

2008年1月 海口市科学技術局長朱東海氏との懇談  
会を開催

2008年2月 「日中新聞」との交流を開始

JST 中国研究センターに協会会員の「私の日本留学  
履歴書」が掲載開始

2008年3月 無錫市政府人材招聘／530プロジェク  
ト開催

第3回日中人材交流ワークショップ開催、協会会員  
から提言

2008年4月 江蘇省江陰市人材招聘座談会が開催

中国無錫留学人員創業園と相互協力協定を締結

日中特別セミナー in OVCEXPO 2008 主催

2008年5月 胡錦濤主席ご来訪を熱烈歓迎

四川大地震 協会震災募金救援活動展開

協会と株式会社ソフトブレンと日中IT人材交  
流を提携へ

長野聖火リレー支援 中国大使館から感謝状

博士協会「百条建言專家委員会」を発足へ

「百名留日博士無錫行」・2008年博士協会年会



百条建言専門家委員会発足及び撫錫行社行式

## ● 2009 年李磊会长出席全国政协会议



李磊会长于人民大会堂

## ● 2010 年 8 月～2012 年 7 月活動報告

### 1. 会員名簿整理確認

事務局副局長孔昌一博士がメインに会員名簿を一人一人確認し、整理した。どうしても確認取れなかった方 4 名がいたが、469 名の会員（当時在籍）をすべて確認できた。中に、一人の会員が 2 回入会金を払ったことを見つけて、事務局会計担当から返金した。2010 年中秋佳節、会員の皆様に調査報告書を提示。

### 2. 会規の検討修正

会規検討委員会を立ち上げ、会規を検討し、理事会で承認され会規を更新した。

### 3. 会員メルマガ編集発行

メルマガ編集委員会を設立し、定期的に会員にメルマガを発行。

### 4. 東日本大地震対応

(1) 東日本大地震救援対応本部設立し、理事会、専門家の会員のメンバーで対応した。

(2) 東日本大震災後の募金、会員の安否確認、事務局が運営する専用ブログで対応した。

(3) 協会募金活動、義援金を新華僑華人会・大使館、日本赤十字を通して届けた。

(4) 国务院僑辦より東日本大震災で被災した僑胞の皆様へ届く慰問金申請を会員に届けた。

5. 一般社団法人全日本中国人博士協会登録  
法人番号：0133-05-001731

6. 全日本中国人博士協会商標登録証を取得  
番号：登録第 5450332 号

### 7. 会員交流、懇親会の開催

(1) 2010 年 9 月 18 日、組織观看“2010 松山バレエ団 第三次“新「白毛女」”公演“

(2) 2010 年 9 月 19 日举办“2010 年中秋海上賞月、会員交流懇親会”

(3) 2010 年 10 月 25 日组织参加“東京国際映画祭りレセプション（林敏潔理事幹旋）”

(4) 2010 年 11 月 20 日举办“紅葉観賞（秋の森林浴）、会員交流懇親会”

(5) 2010 年 12 月 12 日举办“交流・協力・信頼・発展——2010 忘年会”

(6) 2011 年 9 月 5 日组织观赏“務院僑弁の”文化中国・辛亥百年”演出（新華僑華人会）”

(7) 2011 年 9 月 11 日举办“2011 年中秋節賞月、会員交流懇親会”

(8) 2012 年 1 月 21 日举办“新春会員交流懇親会”

(9) 2012 年 4 月 7 日举办“花見、会員交流懇親会”

### 8. 「為国・回国服務、人材招聘」活動

(1) 2010 年 8 月 29 日组织参与“大连市海外高层次人才（东京）洽谈会”

(2) 2010 年 10 月 18 日组织参与“2010 苏州吴中科技人才资本项目对接会”

(3) 2010 年 10 月 26～27 日组织参与“第三届中国留学人员南京国际交流与合作大会（OCP）”

(4) 2010 年 12 月 5 日组织参与“天津市重点企业海外人才招聘洽谈会”

(5) 2010 年 12 月 20～22 日组织参与“第十三届留学人才广州交流会（留交会）、推薦優秀青年人材”

(6) 2010 年 12 月 29～30 日组织参与“海外留学人员唐山创业行”

(7) 2010 年 12 月 29～30 日组织参与“百名海外博士江苏行”

(8) 2011 年 7 月 10~12 日组织参与“2011 年苏州国际精英创业周”

(9) 2011 年 6 月 29 日~7 月 1 日组织参与“2011 中国海外学子创业周（大连）”



大連海創週活動記念写真

(10) 2011 年 8 月 13 日~22 日组织“海外博士江苏盐城行，山东济南行，山西太原行”

(11) 2011 年 8 月 22~25 日参加“厦門双百人材引進推介会”

(12) 2011 年 9 月 17 日~20 日组织参加中国海信集团日本大型人才招聘会

(13) 2011 年 11 月 5—6 日组织参与“2011 年中国（无锡）海智洽谈会”

(14) 2012 年 5 月 25 日参加“天津海外人才智力网上交流洽谈会”



网上交流洽谈会远程会场场景

(15) 2012 年 6 月 27 日—29 日组织参加“2012 中国海外学子创业周（大连）”

9. 支持国内各地政府，相关企事业单位网上人才招聘  
- 天津市重点国企人材情報配布

- 张家港市委市政府人才引进
- 中粮集团海外高层次人才招聘
- 中国电子科技大学（成都）人才招聘
- 長城自動車株式会社動力研究院人才募集
- 中国電子科学集团会社第三十八研究所募集情報

10. 设立人才工作站，联络窗口

- 天津市人才工作站
- 中国（无锡）海外引才工作站
- 广西海外联谊会日本聯絡窗口
- 加入中国无锡海智创新联盟

## ● 2012 年 9 月~現在活動報告

1. 组织机构

(1) 2015 年 3 月：鳩山由紀夫氏(Ph.D., スタンフォード大学)第 93 代内閣総理大臣は本協会の終身名誉顧問

(2) 2016 年 2 月“博乐俱乐部”成立



博乐俱乐部练习活动纪念

(3) 2016 年 4 月 “医药与健康分会” 成立

(4) 2016 年 5 月 “都市建筑学者交流分会” 成立

2. 灾害捐款

(1) 2016 年 6 月 中国盐城龙卷风灾害捐款 捐款 7468RMB 和 161000 日元。

3. 大赛

(1) 组织参加了首届“中国深圳海外创新人才大赛” 2016 年 3 月在日本东京分站赛中有 3 名会员突破分站赛进入总决赛(共 10 名)，并且在 4 月的总决赛中 1 名取得了二等奖，1 名取得了三等奖。而且二等奖项目已经落户深圳开花结果。



创业大赛日本赛区项目介绍会场

4. 日常亲睦活动（中大型忘年会 4 次）

- (1) 2013 年 12 月博士协会每年一度盛大忘年会，百名博士参会
- (2) 2014 年 2 月博士协会每年一度新年联欢会
- (3) 2014 年 9 月博士协会横滨游船中秋赏月
- (4) 2014 年 12 月博士协会每年一度盛大忘年会，百名博士参会



(5) 2015 年 2 月博士协会每年一度新年联欢会



(6) 2015 年 11 月秋末高尾山紀行

(7) 2015 年 12 月博士协会每年一度盛大忘年会，百名博士参会



中国驻日本大使馆王军总领事在忘年会上致辞



忘年会上大家同台高歌

- (8) 2016 年 2 月博士协会每年一度新年联欢会
- (9) 2016 年 4 月博士协会春季赏樱会
- (10) 2016 年 5 月 博士协会组织参加首届华人马拉松接力赛
- (11) 2016 年 6 月 博士协会富士山合宿

5. 中日交流活动（大型百名博士归国访问活动 4 次）

- (1) 2013 年 4 月博士协会访问瀋陽遠大企業集團
- (2) 2013 年 4 月中国天津第九届引進海外人才智力网上交流洽談会活動公告
- (3) 2013 年 8 月博士协会组织盐城市委书记朱克江来日访问活动
- (4) 2013 年 10 月神州学人招聘会
- (5) 2013 年 11 月百名留日博士赴盐城補捉“上升气流”追寻“中国梦”

- (6) 2014 年 3 月海西行
- (7) 2014 年 3 月天津第十届引進海外人才智力网上交流洽談会
- (8) 2014 年 4 月神州学人 5 月招聘会
- (9) 2014 年 5 月深圳市东京海外高层次人才恳亲会与东京信息技术论坛，百名博士参会



中国驻日大使馆商务处吕克俭公使致辞

- (10) 2014 年 9 月神州学人 10 月招聘会
- (11) 2014 年 11 月張家港赴日招才引智
- (12) 2015 年 3 月中国(天津)第十一届引進海外人才智力网上交流洽談会
- (13) 2015 年 4 月协会组织百名留日博士深圳行



- (14) 2015 年 8 月協會代表团参加天津市引智引才海外協作機構聯席会
- (15) 2015 年 9 月博協組团参加 2015 中国西部海外高新科技人才洽談会
- (16) 2015 年 9 月协会组织百名博士访问江苏省产业技术研究院



- (17) 2015 年 9 月協會精准对接“2015 年相聚長三角”
- (18) 2015 年 10 月協會組团参加 2015 百名海外博士江蘇行活動
- (19) 2015 年 12 月博士协会组团参加第 17 届广州留交会并获最佳组织奖



参加第 17 届广州留交会会员合影

- (20) 2016 年 3 月中国（天津）第十二届引進海外人材智力交流会

#### 6. 博士协会微信公众号发布

协会事务局创立了协会微信公众号，请参照以下二维码加注，关注协会大事。



# 全日本中国人博士協会規約(部分摘录)

## 第1章 総則

### 第1条 (名称及び事務所)

(1) 本会は全日本中国人博士協会(英文名 Chinese Academy of Science and Engineering in Japan, 略称「CASEJ」)と称する。URL は <http://www.casej.jp/> である。

(2) 本会の名称を使用する場合は、事前に本会理事会の承認を得なければならない。

(3) 本会は、東京都に主たる事務所を置く。

## 第2章 目的及び事業

### 第2条 (目的)

本会は、次のことを目的とする。

(1) 会員間の学術交流、研究協力及び親睦を促進すること。

(2) 世界トップレベルの研究成果を挙げるとともに、人類の科学進歩と技術発展に寄与し、中日両国の社会・経済・科学・技術の発展に貢献すること。

(3) 中日両国間における文化・学術・経済交流などの架け橋の役割を果たすこと。

(4) 会員の学術水準及び社会的地位の向上を図ること。

### 第3条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) コンピュータネットワークによる研究討議。

(2) 勉強会、研究会、公開セミナー、国際会議などの主催・共催。

(3) 世界における科学技術の最新動向を掲載する学術情報誌の編集及び発行。

(4) 中日両国の科学技術政策の立案、及び高新科学技術の開発などへの協力。

(5) 中国の大学や研究機関での兼任、学術交流活動や会員の帰国創業などの促進。

(6) 中日両国間の学術共同研究に関する企画、共催等。

(7) 会員の学術水準及び社会的地位の向上。

(8) 会員の権利の保護。

(9) 会員の団結と親睦の促進。

(10) その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

## 第3章 会員

### 第4条 (会員の構成)

本会は次の会員で構成され、入会条件は各号の通りとする。

(1) 正会員：日本で博士学位を取得した者、又は博士号を有し日本の教育・研究機関、民間企業等で、学術研究、または技術開発に従事している者。

(2) 準会員：博士後期課程の在學生、又は博士後期課程において所定の単位を取得した者で、本会の定款及び諸規則を賛同する者。

(3) 名誉会員：原則として、社会及び学術分野、又は本会において貢献度が著しく高い者で、理事会より推薦された者。

(4) 賛助会員：本会の目的や主旨に賛同し、理事会の議を経て賛成され且つ下記年会費を支払う者。

個人賛助会員：年会費1万円以上。法人賛助会員：年会費3万円以上。

### 第5条 (会員の義務及び権利)

(1) 本会の目的に賛同し、本規約を遵守し、本会の活動に積極的に参加すること。(2) 会員は協会の団結を維持し、協会の信用・名誉を傷つけ、又は損害を及ぼさないよう節度ある言動に努めること。(3) 正会員：投票権と立候補権を有する。(4) 準会員：入会一年以上の者は投票権を有する。

### 第6条 (入会)

(1) 本会の入会手続き窓口は、事務局 (office@casej.jp) とする。

(2) 入会申請は、本人により申請すること。

(3) 本会の入会希望者は、入会費を添えて、所定の入会申込書及び関連証明書類を提出し、理事会の承認を得なければならない。

(4) 入会申請の手続きを完了した者には、会員番号を付与し、本会の会員になる。

(5) 準会員は、博士学位を取得後、正会員になることができる。その場合、会員種別変更手続きをしなければならない。

### 第7条 (会費)

(1) 入会費：正会員3000円、準会員：2000円、名誉会員：入会費を免除する。ただし、準会員が正会員に変更される場合には、新たに入会費は徴収しない。理事会の決議を経て入会費を変更することができる。

(2) 年会費：年会費の額は、必要に応じて会員総会の決議を経て定める。在学中の準会員、名誉会員の年会費は免除する。…… ……